

結ぬ海科通信

上原小学校
R4.10.18
No.6

〈5学年の取り組み〉

5年生は結ぬ海科で「ゴミのゆくえ」について学習しています。10月13日（木）にはリサイクルセンターに行き、リサイクルの仕組みを知ることができました。



ゴミはここに埋めているんだよ。このままゴミが増えたら16年後には、今埋めている場所はいっぱいになるよ！

ピンは色で分けて、また細かく砕いてピンを作ったりしているよ。地球を守るためにリサイクルに取り組んでいるよ！



次回は同じゴミでも漂着ゴミについて調べていく予定です。漂着ゴミは、どこに多いのか？どんな種類があるのか？また、沖縄県と全国を比べながら考えを深めていきます♪

〈6学年の取り組み〉

ビーチクリーンを通して、中野海岸にたどり着いたゴミの量や種類を知った子どもたち。また、ペットボトルの国籍調査をして、中国や台湾など他の国からも流れ着いていることから、海流や潮流、風の関係、さらに西表の他の海岸ではどうなのかについて調べてみました。



海流よりも風の影響が強いよ！
同じ沖縄でも西表や北部地域は海外からのゴミが多いけど、那覇とかは日本のゴミばかりなんだよ！！西表でも、ゴミが多いと地域とそうじゃないところがあるよね！

そして10月6日（木）には中野海岸に行き、ペットボトル、サンダル、コップの漂着ゴミを集め、劣化パネルを作成しました。実際に劣化していく流れを確認することで、ゴミがどんどん小さくなっていくことを知ることができました。次回はさらに小さい「マイクロプラスチック」について学習を深める予定です♪

